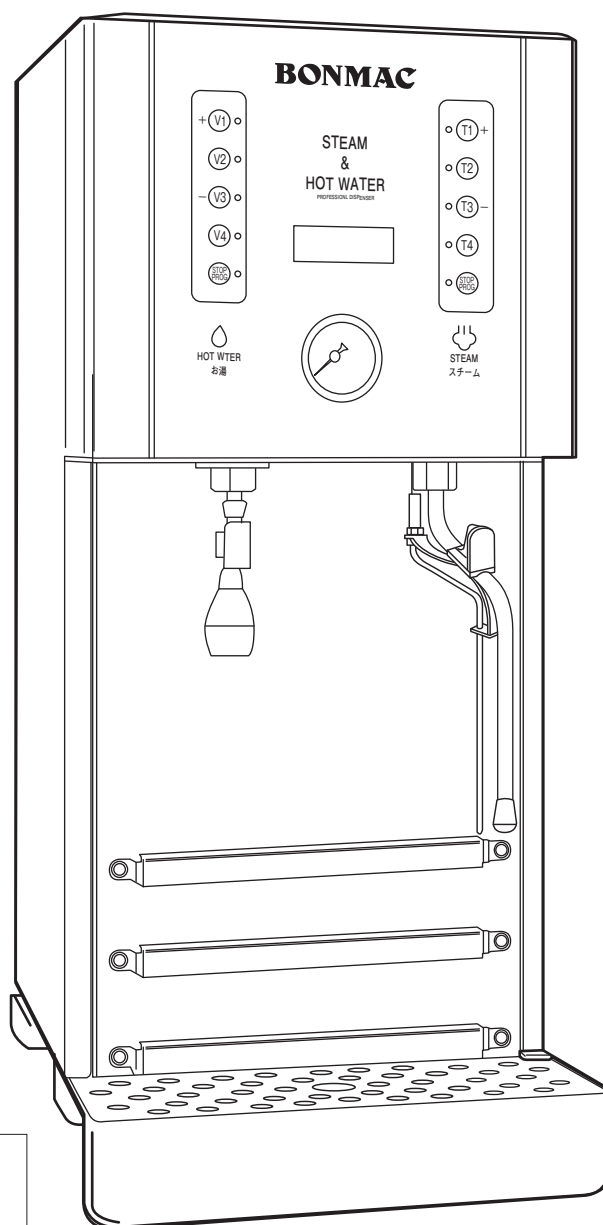


## オートスチーマー BM-SH1

### 取扱説明書



### 目 次 頁

|                |     |
|----------------|-----|
| ● 安全上の注意事項     | 1   |
| ● 各部の名称とはたらき   | 3   |
| ● 設置方法         | 4   |
| マシンの設置         | 4   |
| ● 操作方法         | 4   |
| スチームの使用        | 5   |
| 熱湯の使用          | 5   |
| 設定方法           | 6   |
| ● 清掃           | 7   |
| ● 故障診断         | 9   |
| ● 仕様           | 9   |
| ● 製品保証書、無料修理規定 | 表紙裏 |

このたびはBM-SH1オートスチーマーをお求めいただき、まことにありがとうございます。

ご使用になる前に、この説明書をよくお読みいただき、十分にご理解いただいたうえで正しく操作してください。

この説明書は、必要な時にいつでもお読みいただけるようわかり易い場所に大切に保管してください。

# 安全上の注意事項

ご使用になる前にこの安全上の注意をよくお読みになり、正しくお使いください。

表示内容は次の通りです。



## 警告

守られないと、重大な人身事故や死亡事故につながる可能性のある事柄。



## 注意

守られないと、人に傷害を与えたり物損事故につながる可能性のある事柄。

これらの警告・注意事項をよくお読みいただき、必ず守ってください。



## 警告

据付工事は、お買い上げ店または専門業者に依頼してください。

アース線は、必ず専用のアース端子に接続してください。

装置を電源に繋ぐ際には、分岐コンセントの使用やタコ足配線はしないでください。

本体に供給する電源の工事を行う場合には電気設備工事の専門技術者が行き、電源の容量が不足したり設備工事に不備がないようにしてください。

電源プラグはほこりが付着していないか定期的に確認し、根元まで確実に差し込んでください。

コード内部が断線したまま使用を続けると、火災の危険性があります。

電源は、漏電ブレーカーを施した専用のコンセントに接続してください。

機械に水をかけないでください。漏電する恐れがあります。

水のかかりやすい場所や、湿気の多い場所には設置しないでください。

濡れた手で機械・コード・プラグに触れないでください。

マシンから水漏れ、蒸気漏れを確認した場合、マシンの電源をぬいて販売店へ連絡ください。

すすぎ中は抽出口やノズルに手を近づけないでください。

顔や手、または他人にスチームノズルを向けないでください。

火傷を負った場合、ただちに患部を冷やし、状態に応じて医師に相談してください。

熱い飲み物でやけどをする恐れがあります。

適切なドリンクの容器のみ使用してください。容器の破損及び、火傷の恐れがあります。

吸・排気口などの隙間にもものを入れたり、手を近づけないでください。

小さなお子様や、不慣れな方が機械に触れない様で注意ください。

機械に異常を感じたら、ただちに運転を中止し、販売店へ連絡のうえ、その指示に従ってください。

機械の分解・改造は絶対にしないでください。

修理作業は、専門の修理技術者以外に行わないでください。

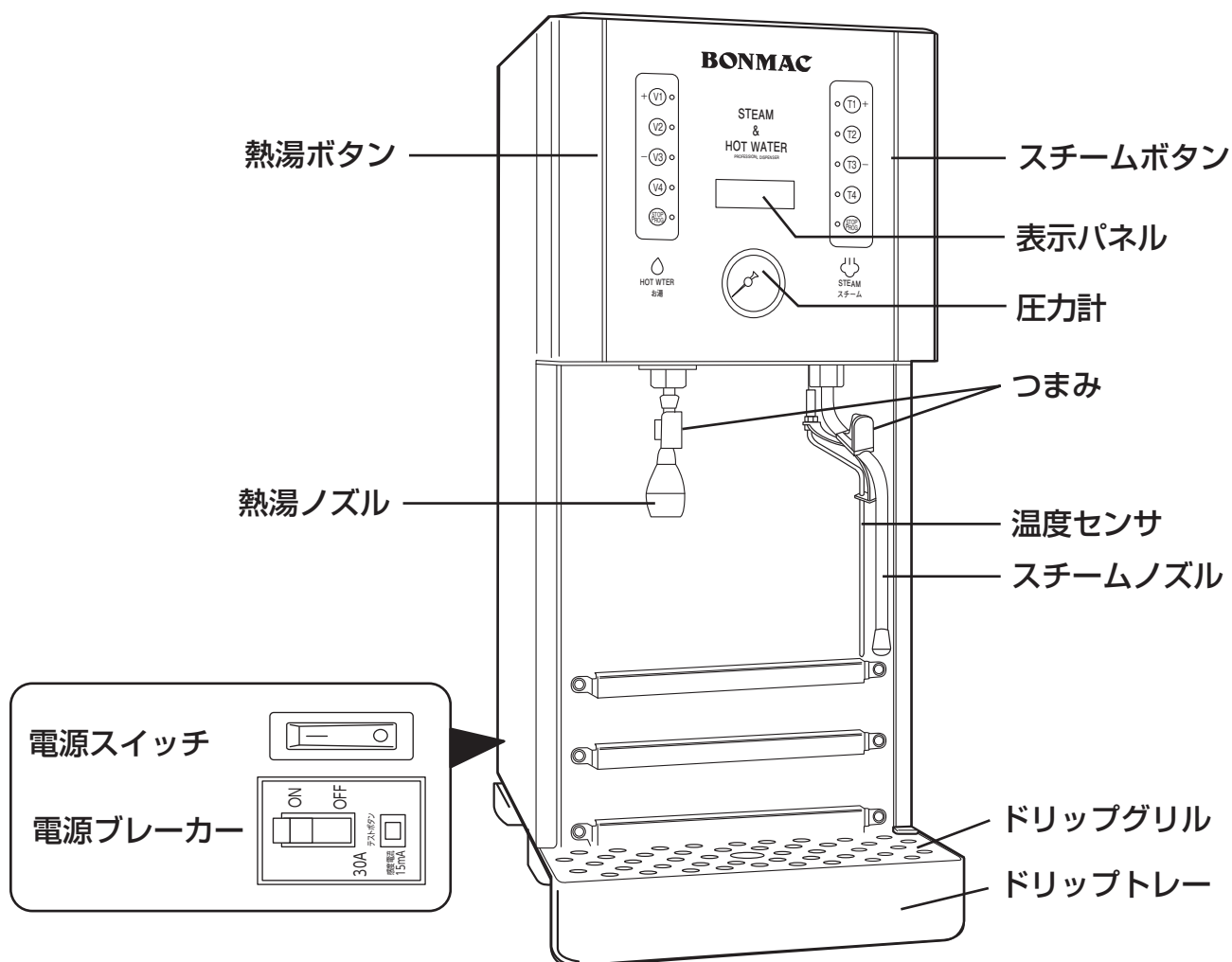
廃却は専門業者か、お買い上げの店に依頼してください。

# 安全上の注意事項

これらの警告・注意事項をよくお読みいただき、必ず守ってください。

|  <b>注意</b> |
|---------------------------------------------------------------------------------------------|
| この機械は、本来の目的以外に使用しないでください。                                                                   |
| 振動の多い場所や、不安定な場所には設置しないでください。                                                                |
| 電源は設置場所から 1m 以内に準備してください。                                                                   |
| 屋外やこれに準ずる場所には設置しないでください。                                                                    |
| 高熱を発生する機器の周辺や、直射日光のあたる場所、あるいは凍結の恐れのある場所では使用しないでください。                                        |
| 可燃性のスプレーを近くで使用したり、可燃物を置かないでください。                                                            |
| 機器の周辺は、およそ10cm以上の空間をあけて設置してください。                                                            |
| 設置場所の周囲は、水やコーヒーがこぼれてもよい場所を選んでください。                                                          |
| メーカー推奨の電源電圧でご使用ください。                                                                        |
| メーカー推奨の水道水圧内でご使用ください。                                                                       |
| 給水に使用する水は、必ず浄水した水道水を使用してください。                                                               |
| ご使用の浄水器の使用期限を確認し、定期的に浄水フィルターを交換してください。                                                      |
| 本機の上に物を置かないでください。                                                                           |
| 製品にもたれたり、乗ったりしないでください。                                                                      |
| スチームノズルは、装着してある断熱ゴム以外の金属部分に直接手を触れないでください。                                                   |
| 運転中、可動部に手を入れないでください。                                                                        |
| 清掃・点検時は、必ず電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてから行ってください。                                                     |
| 洗浄が不十分な場合、異物混入やマシントラブルの恐れがあります。<br>マシンを使用する際は、必ずマニュアルに従ってマシンを洗浄してください。                      |
| 排出口や排水管に詰まりがないか始業時に点検を行ってください。                                                              |
| 漏電遮断器は月に 1 回、動作確認してください。                                                                    |
| クリーニング時には、必ず専用の薬剤をご使用ください。                                                                  |
| 使用する洗浄剤のラベルに記載された危険に関する警告を確認してください。                                                         |
| 洗浄剤をドリンクに混入させないでください。                                                                       |
| 営業終了後など長時間作業者がいない場合は、電源プラグを抜いて水道の元栓を閉めてください。                                                |
| 断水の際はメインスイッチを「OFF（切）」にし、水道栓を閉めてください。                                                        |
| 断水が発生した場合や長期間マシン（7日間以上）使用しない状態が続いた場合、<br>残留物が蓄積することがあります。デイリークリーニングを実施後に使用してください。           |
| 設置後に機器の移動は避けて下さい。漏水の原因となります。                                                                |

# 各部の名称とはたらき



## ■表示パネル



# 設置方法

## マシンの設置

◎水平で安定したカウンターや台の上に設置してください。  
設置台は、耐荷重50kg以上のものを使用してください。

◎マシンの周囲は壁面から10cm以上は離してください。  
高さは30cm以上の空間をあけて設置してください。

◎風通しのよい場所、湿度が低い場所に設置してください。

◎設置環境は、5～35℃の室温が保てる場所に設置してください。  
直射日光の当たる場所には保管、設置しないでください。

◎水を使用しても問題のない場所に設置してください。 ⚠ 警告

⚠ 警告 転倒するとケガや火傷の原因になります。

⚠ 空間が狭いと、不具合や故障の原因になります。

⚠ 湿気が多いと感電、漏電の恐れがあります。

⚠ 氷点下や高温になる場合は、不具合、故障の原因になります。

使用中の水のこぼれや飛び散りなど、周囲に影響のない場合で使用してください。

## ■電源

◎単相200V 20A以上のコンセントで使用してください。

◎アース線が接地されているコンセントに必ず接続してください。

⚠ 警告

※三相電源には絶対接続しないでください。  
感電する恐れがあります。

※マシンは必ずアースに接続してください。  
アースを接続しない場合や不完全な場合は、漏電、火災、感電の恐れがあります。  
アースが無い場合は、第三種接地工事を電気工事専門家に依頼してください。

## ■水道

◎水道元栓は(呼び13mm G1/2・R1/2)ストップバルブのものを用意してください。  
専門の水道工事店に依頼してください。

◎水が流れている状態で0.2～0.28MPa(約2～2.8kgf/cm<sup>2</sup>)以内の水道圧が必要になります。

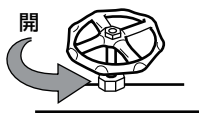
※水圧が低い場合は、マシンに給水しない恐れがあります。

水圧が高い場合は、減圧弁などを取付してください。

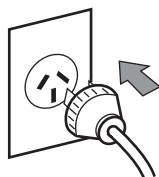
0.6MPa以上(6kgf/cm<sup>2</sup>)以上の圧力を加えると故障、本体下から水漏れの原因になります。

# 操作方法

1 水道の元栓を開きます。

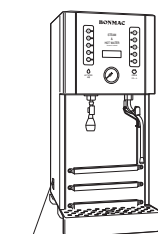


2 コンセントを入れてください。



(電源プラグを差し込むなど)

3 漏電ブレーカーと電源スイッチをONにしてください。



電源スイッチ

4 圧力計の針が0から動き出したら、一度スチームを出してください。  
スチームノズルから蒸気(空気)が出てくることを確認してからスチームを止めてください。



約10分で圧力計の針が上がりはじめ、約16分で適温となります。

※ボイラー内に空気が残っていると、正常に圧力が上がらない場合があります。

# 操作方法

## スチームの使用

冷たい飲み物を温めたり、ミルクを泡立てたりするときに使用します。

- 警告** スチーム使用に際しては、はじめにノズル内に結露した水（湯）が出ますのでヤケドに注意してください。
- 警告** スチームの使用・使用直後は、スチームノズルが高温になりますのでヤケドに注意してください。
- 警告** 加熱しすぎますと容器内で激しく沸騰しヤケドの原因となりますので、ご注意ください。
- 注意** スチーム使用後はノズルを湿った布でよく拭きスチームの空だしを行ってください。（ノズル内にドリンクが詰まり異臭発生や故障の原因となります。）

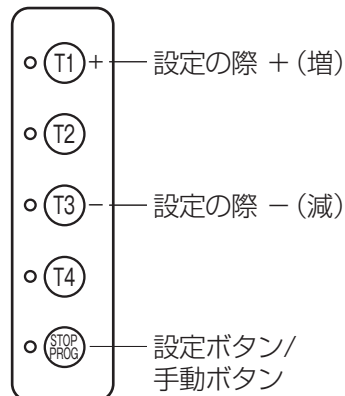
スチームを使用する時は、はじめはノズル内に結露した水がお湯になって勢いよく吹き出てきますのでヤケドに注意してスチームノズルの先端に湿った布などで覆ってから空だしを必ず行ってからご使用ください。空だしを行う事で、お湯が飲み物に入って薄まる事を防ぎます。  
※清潔に使用していただくためにも、使用前、使用後は必ず空だしを行ってください。

スチームパイプは直接手で触れないでください。高温の為ヤケドに注意してください。  
※スチームパイプに触れる場合は、必ずつまみを利用してください。

- T1～T4のスチームボタンを押すとスチームノズルから蒸気がでます。
- スチームを止めるときは、押したスチームボタンをもう一度押してください。

- 1) 加熱する飲み物をカップなどの容器に入れ、スチームノズル先端に浸します。
- 2) T1～T4のスチームボタンを押して、飲み物を加熱します。  
あらかじめ設定した温度で自動的に止まります。  
手動で止める場合はスチームボタンを再度押して止めてください。

※スチームを使用した後は、必ず湿った柔らかい布でノズルとパイプを拭いてください。



▼スチーム使用中の表示パネル



## 熱湯の使用

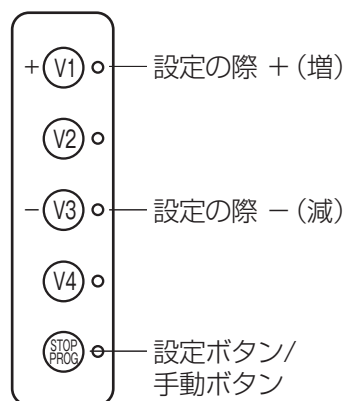
紅茶・ココアなどのホットドリンクメニューに使用します。

- 警告** 熱湯の使用・使用直後は、熱湯ノズルが非常に高温になりますのでヤケドに注意してください。
- 警告** 熱湯はノズルから沸騰した状態で出てきます。ヤケドに注意してください。
- 注意** 大きな容器に一度に多量の湯をとるとボイラー圧力が低下し、スチームの使用に支障をきたします。

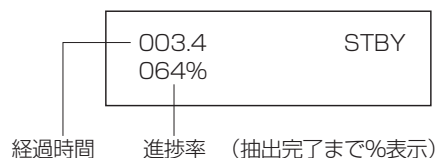
- V1～V4の熱湯ボタンを押すと熱湯ノズルから熱湯がでます。
- 熱湯を止めるときは、押した熱湯ボタンをもう一度押してください。

- 1) カップなどの容器を熱湯ノズルの下にうけて、熱湯ボタンを押してください。

※各1～4の熱湯ボタンは、押すと熱湯ノズルから設定された湯量（時間）の熱湯がでて自動で止まります。（ボイラー圧によって量は異なります。）  
STOP/PROGボタンは手動ボタンになります。  
熱湯の抽出を途中で止めたい場合に押してください。



▼熱湯使用中の表示パネル

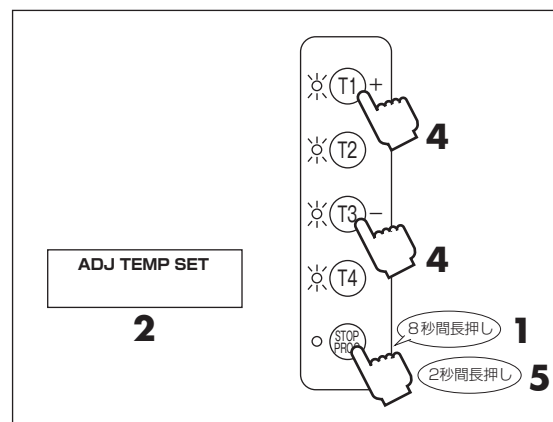


◎スチームは設定された温度で、熱湯は設定された時間で自動的に止まります。  
設定方法は、6ページをご覧ください。

## 設定方法

### ■ スチームの設定方法

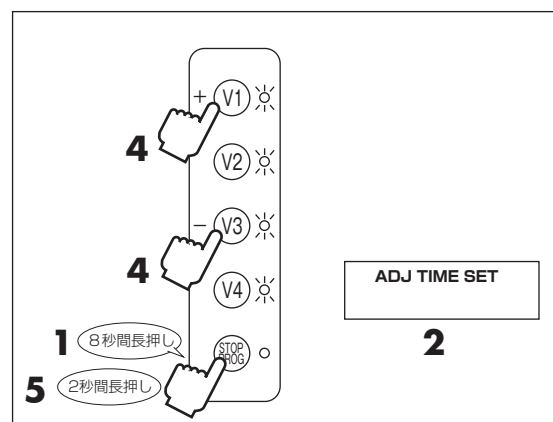
- 1** 右側のSTOP/PROGボタンを8秒間長押ししてください。  
右側4つのスチームボタンのLEDランプが点滅します。
- 2** 表示パネルに“ADJ TEMP SET”が表示されます。
- 3** T1～T4までの設定したいスチームボタンを押してください。  
現在設定されているTEMP（温度）が表示されます。
- 4** +（増）【T1ボタン】と－（減）【T3ボタン】を押して  
好みの湯量になるように時間設定をしてください。
- 5** 右側のSTOP/PROGボタンを2秒間押しして設定を保存し  
もう一度STOP/PROGボタン押すと設定が完了します。



※表示される設定温度は、温める液体によって多少ズレが発生します。  
実際の液温を計測して近い温度設定で調整してください。

### ■ 湯量の設定方法

- 1** 左側のSTOP/PROGボタンを8秒間長押ししてください。  
左側4つの給湯ボタンのLEDランプが点滅します。
- 2** 表示パネルに“ADJ TIME SET”が表示されます。
- 3** V1～V4までの設定したい給湯ボタンを押してください。  
現在設定されているseconds（秒）が表示されます。
- 4** +（増）【V1ボタン】と－（減）【V3ボタン】を押して  
好みの温度に調整してください。
- 5** 左側のSTOP/PROGボタンを2秒間押しして設定を保存し  
もう一度STOP/PROGボタン押すと設定が完了します。



※湯量は時間で設定されます。  
湯量はボイラータンク内の圧力によって増減します。圧力が下がると湯量も減少します。  
設定は圧力MAXの状態で行ってください。設定時の湯量より増える事を防ぐことができます。

設定された湯量は、給湯バルブが開放している時間設定です。  
ボイラー圧の力で押し出されてボイラーのお湯が抽出されます。  
その為、ボイラーの圧力に応じて湯量変動します。  
湯量を設置する際は、ボイラー圧 1 bar以上のMAXに近い時に設定してください。

スチーム、給湯を連続して使用するとボイラー圧が下がり、設定した湯量より少なくなります。

※注意 ボイラー圧が低い状態で設定した場合は、湯量が設定した時より多く抽出される場合があります。  
必ず設定時は、ボイラー圧が 1 bar以上で行ってください。

設定モードは、約30秒間、何もしなければ通常モードに戻ります。

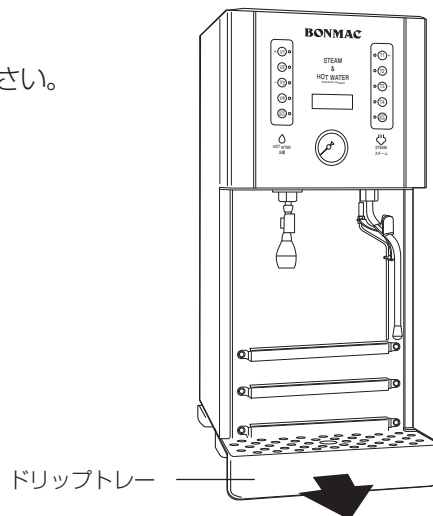
## 毎日の清掃

お手入れをする前に以下の注意事項を守ってください。

- 注意**
- 電源スイッチをOFFにして電源プラグをコンセントから抜いてください。
  - 圧力計が“0”表示になっているか確認してください。

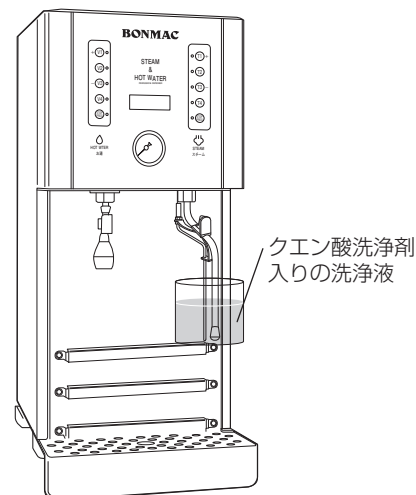
### ■ 本体のお手入れ

- 1) 本体は湿ったやわらかい布で拭いてください。
- 2) ドリフトレーを引き出し、水洗いします。
- 3) ドリフトレーの水気をよく切ってから元の位置に差し込みます。



### ■ スチームのお手入れ

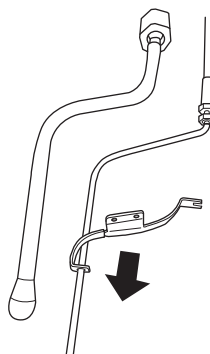
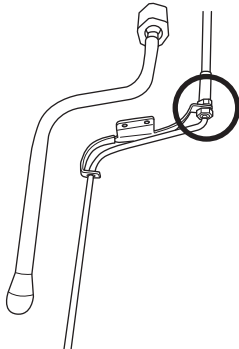
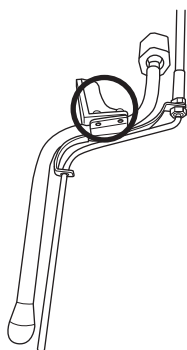
- 1 スチームノズルの汚れ部分までしっかり入る容器に水を入れ、クエン酸洗浄剤を指定されている濃度まで入れてください。
- 2 洗浄液を90℃ぐらいまで加熱してください。  
そのまま約20分間、スチームノズルを漬け込みます。
- 3 洗浄液を捨て、十分にすすいだあとに、きれいな水で浸し、5回以上水を入替えて70℃ぐらいまで加熱してください。
- 4 すすいだお湯から洗浄液の匂いがなくなれば、すすぎは完了です。
- 5 温度が下がってからスチームノズルを反時計回りに廻して取り外し、ノズルの穴やパイプの汚れを細いブラシなどで清掃してください。



- 注意** 電源をOFFにした状態で、付け置きはしないでください。  
ボイラーの圧力が下がった状態では、洗浄液をボイラー内に  
吸い込んでしまう可能性があります。

### スチームワンド 温度センサー分解方法

- 1 4本のネジを外します。
- 2 温度センサのネジをゆるめます。
- 3 止め具を抜きます。
- 4 清掃後、逆の手順で組み立ててください。



## 毎日の清掃

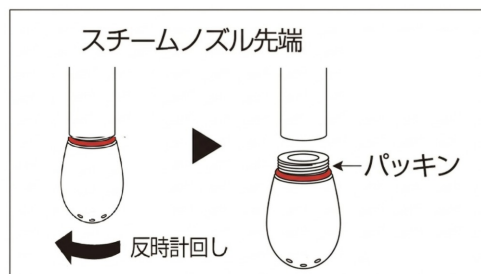
### ■ スチームノズルのお手入れ

スチームノズルの先端は定期的に洗浄してください。ミルクなどの汚れで目詰まりいたします。

※高温の場合は、やけどにご注意ください。温度が下がってからの作業を行ってください。

- 1) スチームノズルの先端を、反時計回りに取り外して洗浄してください。

スチームノズルの先端にはパッキンが付いています  
お手入れの際にキズをつけないように注意してください。



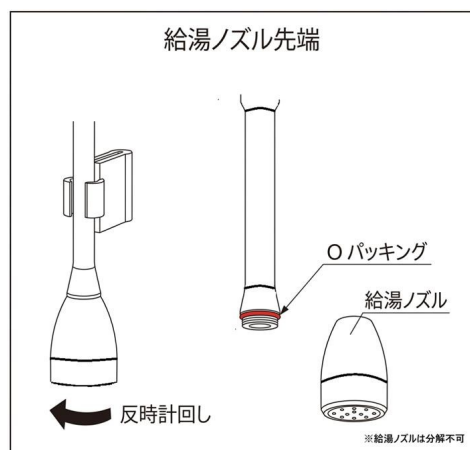
### ■ 給湯ノズルのお手入れ

給湯ノズルの先端は定期的に洗浄してください。スケールなどの汚れで目詰まりいたします。

※高温の場合は、やけどにご注意ください。温度が下がってからの作業を行ってください。

- 1) 給湯ノズルの先端を、反時計回りに取り外して洗浄してください。

給湯ノズルの先端にはパッキンが付いています  
お手入れの際にキズをつけないように注意してください。



# 故障診断

| 状 況                                                        | 原 因                                    | 処 理                                                                                                       |
|------------------------------------------------------------|----------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| “temperature warning ” と表示パネルに表示されブザーが鳴る                   | ボイラー温度が高い<br>圧力計が1.5bar以上になっていませんか？    | 電源を入れ直してください。<br>繰り返し表示される場合は、圧力センサーの不具合の可能性があります。<br>サービスセンターへご連絡ください。                                   |
| “water inlet process is not normal ” と表示パネルに表示されブザーが鳴る     | 給水がされていない                              | 電源を入れ直してください。<br>繰り返し表示される場合は、水道の元栓が開いているか確認してください。<br>水圧が低いもしくは、浄水器が詰まっている可能性があります。<br>サービスセンターへご連絡ください。 |
| 立ち上げ後にはじめてスチームを使用すると、ボイラー圧力が一瞬で低下した。<br>その後の再加熱後は正常に使用できる。 | ボイラー内に空気が残っていたため、<br>圧力センサーが正常に動作しなかった | 立ち上げ時に圧力計の針が0から少し動いてから、一度スチームを空出ししてください。<br>空気を抜くことで正常に加熱が再開され使用できます。                                     |

# 仕様

|               |                            |
|---------------|----------------------------|
| モデル           | BONMAC オートスチーマー BM-SH1     |
| 外形寸法 (mm)     | 幅 271 / 奥行 404 / 高さ 644 mm |
| 重量 (乾燥重量)     | 21.3kg                     |
| 電源：消費電力       | 単相200V：2700W 50/60Hz       |
| 初動沸き上がり時間 (約) | 16 分                       |

注意：上記の仕様は、品質向上のため予告なしに変更されることがありますのでご了承ください。



# 製品保証書

| 型 式                  |                      | 機番 | 保証期間                      |
|----------------------|----------------------|----|---------------------------|
| お<br>客<br>様          | お名前 様                |    | お買上げ日より <b>1</b> 力年       |
|                      | ご住所 〒                |    | お買 上 げ 日                  |
|                      | 電話 (       )       ー |    | *       年       月       日 |
| * 販売店名               |                      |    |                           |
| 住所                   |                      |    |                           |
| 電話 (       )       ー |                      |    |                           |

本書はお買上げ日から上記期間中に故障が生じた場合に、本書下記記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。詳細は下記をご参照ください。  
ご販売店さまへ：\*印欄は必ず記入してお渡してください。

## 無 料 修 理 規 定

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合には、無料修理させていただきます。無料修理をご依頼になる場合には、お買上げ店にお申し付けください。
- 保証期間内でも次の場合には有料にさせていただきます。
  - (イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による、故障及び損傷。
  - (ロ) お買上げ後の取付け場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷。
  - (ハ) 火災、地震、水害、落雷その他の天災地変及び公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷。
  - (ニ) 車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷。
  - (ホ) 本書のご提示がない場合。
  - (ヘ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
  - (ト) 遠隔地へ出張修理を行う場合の出張に要する費用。
- この製品の補修用性能部品の保有期間は製造打切後5年です。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
  - ※ この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買上げの販売店にお問い合わせください。

**ラッキーホームマシン** 株式会社

事業所については  
こちらをご覧ください

